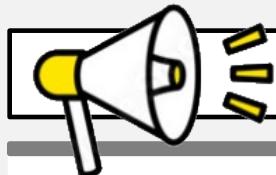


# 物流BCP作成支援の補助資料

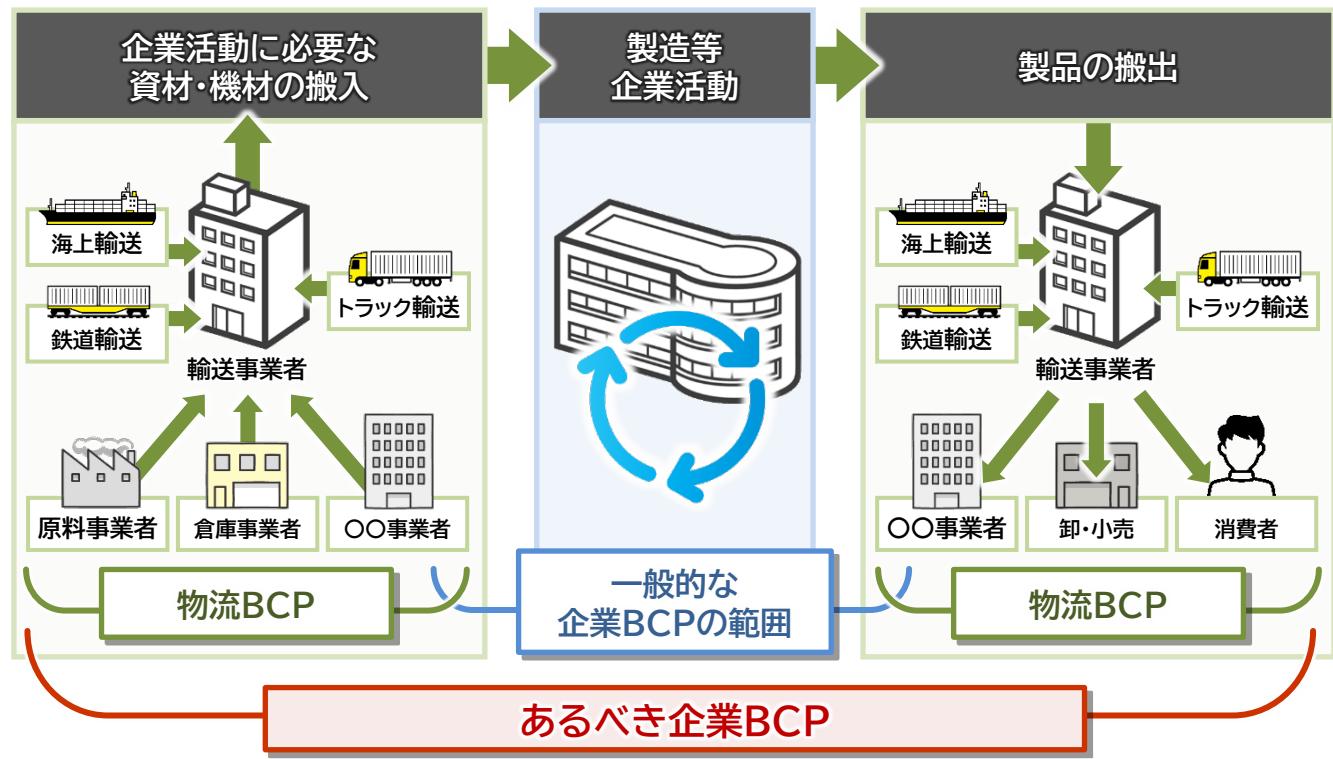


## 大規模災害への備え

大規模災害で発生した被害によって物流が滞るような事態に備え、即座の判断が難しい情報や手配に時間がかかるものについては、事前に準備をしておくことが重要です。

「代替輸送基本行動計画」および「代替輸送手引書」を参照し、自社に必要な項目を抽出し、平常時から準備しておきましょう。

基本行動計画、手引書はこちら→  
北陸広域バックアップ体制Web



## 物流BCP作成の重要性

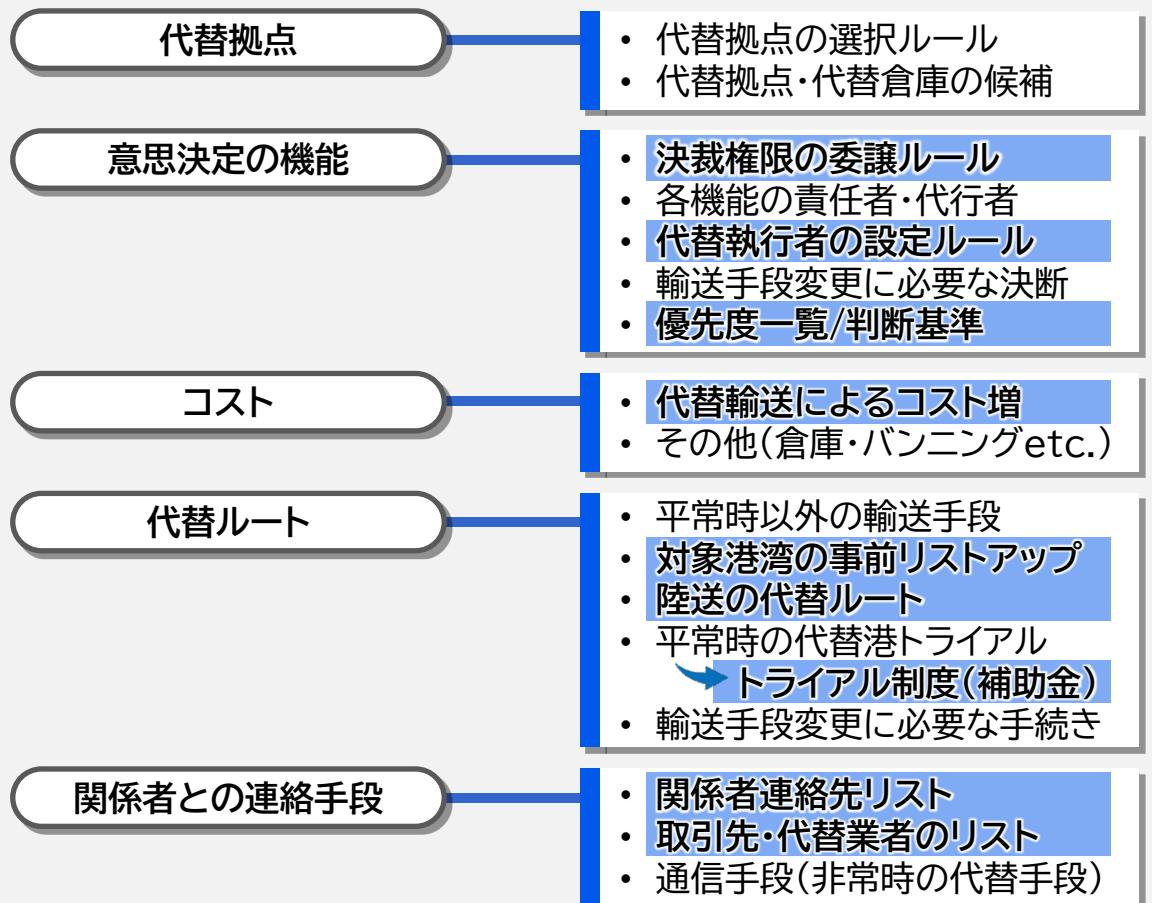
製造業の企業活動を例にとると、製造に必要な原料や資機材等の搬入の際に物流手段が不可欠です。

そして製造した製品を納品する際に再び物流が必要となり、そのどちらが欠けても企業活動は存続できません。

災害発生時等の非常事態においても「物流を止めない」という観点から、この物流手段やルートの確保のための対応及び計画を「物流BCP」と呼んでいます。



## 事前に確認しておくべき情報



## 特に準備が必要なこと

- 代替輸送ルートや必要なコストについて事前に調査し、明確にしておく。それを経営にあらかじめ承認してもらっておくことで、有事にも速やかに対応ができます。

**CHECK!** 詳細は  
基本計画  
P14
- 代替港を使用するためには事前に明確にしておき、社内の調整ができていると、契約締結までの時間を短縮することができます。

**CHECK!** 詳細は  
手引書  
P6
- 災害時に必要な関係者、取引先、代替業者のリストは非常に重要です。

これらの準備には、想定した代替ルートを普段から使用してみることが最も効果的です。  
各港のトライアル制度や補助金もチェックしてみましょう！

**CHECK!** 詳細は  
基本計画  
P72
- 意思決定のルールは、権限を持った人が不在の場合に備えて権限移譲ルールを決めておくこと、イレギュラーな状況となった場合の判断基準を決めておくことが重要です。

災害は、被害内容や発生状況等、千差万別です。  
各災害に対して個別にBCPを作成することも必要ですが、判断基準や権限移譲を明確にしておくことで災害の内容に関わらず対応が可能となります。

**CHECK!** 詳細は  
手引書  
P42